中学校歴史 単元別学習 90 問

第 14 単元 憲法 議会政治と国際関係

範囲：自由民権と憲法／議会政治／条約改正／日清・日露戦争と東アジア
用語と順序を確かめ、政治参加と国際関係の変化を、立場の違いも考えて説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

自由民権運動と政党の結成

問 1　薩摩・長州などの出身者が、政府の要職を占めて進めた政治を何というか。

問 2　自由民権運動を進め、のちに自由党の党首となった、土佐出身の人物は誰か。

問 3　1874 年、板垣退助らが、国民の代表による議会の開設を求めて提出した文書は何か。

問 4　国会の開設や憲法の制定、国民の政治参加などを求めた運動を何というか。

問 5　1874 年、板垣退助らが高知で結成した、自由民権運動の政治結社は何か。

問 6　1880 年、国会の開設を求める全国的な組織として結成された団体は何か。

問 7　1881 年、政府が 1890 年に国会を開くことを約束して出した文書は何か。

問 8　1881 年、板垣退助を党首として結成された政党は何か。

問 9　1882 年、大隈重信を党首として結成された政党は何か。

問 10　立憲改進党を結成し、イギリス式の議会政治を重視した人物は誰か。

憲法の制定と帝国議会

問 11　憲法づくりの中心となり、1885 年に初代内閣総理大臣となった人物は誰か。

問 12　1885 年、太政官制に代わり、内閣総理大臣を中心に各大臣が政治を進める制度は何か。

問 13　1889 年、天皇が国民に与える形で発布された憲法は何か。

問 14　大日本帝国憲法が手本とした、君主の権限が強い憲法を持つ国はどこか。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　大日本帝国憲法で、国の政治を最終的に決める権限が天皇にある原則を何というか。

問 16　大日本帝国憲法では、天皇の統治を受ける国民は何と呼ばれたか。

問 17　1890 年に初めて開かれ、法律や予算を審議した、大日本帝国憲法の下での議会は何か。

問 18　帝国議会を構成した二つの議院は何か。

問 19　1890 年の衆議院選挙で、満 25 歳以上の男子に求められた直接国税の年額は何円以上か。

条約改正と明治初めの外交

問 20　条約改正を進めるため、欧米の外交官などを招く舞踏会が開かれた洋風の建物は何か。

問 21　1886 年、イギリス船の沈没をめぐり、領事裁判権への批判が強まった事件は何か。

問 22　1894 年、イギリスとの条約改正を進めた、日本の外務大臣は誰か。

問 23　1894 年、領事裁判権の撤廃を定めるために、イギリスと結んだ条約は何か。

問 24　外国人の犯罪を、その国の領事が裁判する権利で、条約改正で撤廃されたものは何か。

問 25　1911 年、関税自主権の完全回復を実現した、日本の外務大臣は誰か。

問 26　輸入品などの関税率を自国で決める権利で、1911 年に完全に回復したものは何か。

問 27　1871 年、日本が清との間で結んだ、相互に権利を認める対等な内容の条約は何か。

問 28　樺太での権利を放棄する代わりに、ロシアから千島の島々を得た 1875 年の条約は何か。

問 29　1879 年の沖縄県設置など、明治政府が琉球を組み込んだ一連の措置を何というか。

朝鮮の開国と日清戦争

問 30　1875 年、日本軍艦の示威行動をきっかけに、朝鮮と日本の武力衝突が起こった事件は何か。

問 31　1876 年、日本が朝鮮と結んだ、領事裁判権などで朝鮮に不利な条約は何か。

問 32　1894 年、朝鮮で起こり、日清両国の出兵のきっかけとなった農民の反乱は何か。

問 33　1894 年、朝鮮への影響力をめぐって、日本と清の間で始まった戦争は何か。

問 34　1895 年、日本と清が結んだ、日清戦争の講和条約は何か。

問 35　下関条約で、日本に割譲すると定められた三つの主な地域はどこか。

問 36　1895 年、ロシアなどが、日本に遼東半島を清へ返すよう求めた出来事は何か。

問 37　三国干渉を行った三つの国はどこか。

日英同盟と日露戦争

問 38　1900 年、清で外国勢力の排除を唱え、列強の公使館を包囲した運動に始まる事件は何か。

問 39　1902 年、ロシアの進出を警戒した日本とイギリスが結んだ同盟は何か。

問 40　1904 年、満州や韓国への影響力をめぐって、日本とロシアの間で始まった戦争は何か。

問 41　1905 年、東郷平八郎が率いる日本海軍が、ロシアのバルチック艦隊を破った海戦は何か。

問 42　1905 年、アメリカの仲介で日本とロシアが結んだ、日露戦争の講和条約は何か。

問 43　ポーツマス条約で、北緯 50 度以南が日本に割譲された島の地域はどこか。

問 44　1905 年、賠償金を得られなかった講和条件などへの不満から、東京で起こった事件は何か。

植民地支配と中国の変化

問 45　韓国の外交を監督するために日本が置き、伊藤博文が初代統監となった機関は何か。

問 46　1910 年、日本が韓国を植民地とした出来事を何というか。

問 47　韓国併合後、日本が朝鮮を植民地として支配するために置いた機関は何か。

問 48　民族・民権・民生の三民主義を唱え、中国の革命運動を進めた人物は誰か。

問 49　1911 年に始まり、清の皇帝による支配を終わらせた革命を何というか。

問 50　1912 年、孫文を臨時大総統として成立した、中国の共和国は何か。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　自由民権運動の広がり

ア 国会期成同盟が結成される　　イ 立憲改進党が結成される
ウ 民撰議院設立建白書が出される　　エ 国会開設の勅諭が出される

問 2　政党から憲法の制定へ

ア 自由党が結成される　　イ 内閣制度ができる
ウ 大日本帝国憲法が発布される　　エ 立憲改進党が結成される

問 3　国会の要求から議会へ

ア 国会開設の勅諭が出される　　イ 大日本帝国憲法が発布される
ウ 民撰議院設立建白書が出される　　エ 第 1 回帝国議会が開かれる

問 4　条約改正の段階

ア 領事裁判権の撤廃が実施される　　イ ノルマントン号事件が起こる
ウ 関税自主権が完全に回復する　　エ 日英通商航海条約が結ばれる

問 5　明治初めの近隣外交

ア 沖縄県が置かれる　　イ 日清修好条規が結ばれる
ウ 樺太・千島交換条約が結ばれる　　エ 日朝修好条規が結ばれる

問 6　朝鮮の開国と日清戦争

ア 下関条約が結ばれる　　イ 日清戦争が始まる
ウ 日朝修好条規が結ばれる　　エ 大日本帝国憲法が発布される

問 7　日清戦後から日英同盟へ

ア 三国干渉が行われる　　イ 義和団事件が起こる
ウ 日英同盟が結ばれる　　エ 日清戦争が始まる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　日露戦争の前後

ア ポーツマス条約が結ばれる　　イ 日露戦争が始まる
ウ 日英同盟が結ばれる　　エ 義和団事件が起こる

問 9　議会の開設と対外関係

ア 日英同盟が結ばれる　　イ 第 1 回帝国議会が開かれる
ウ 日清戦争が始まる　　エ 日露戦争が始まる

問 10　列強と東アジアの変化

ア 三国干渉が行われる　　イ 日英同盟が結ばれる
ウ ポーツマス条約が結ばれる　　エ 韓国併合が行われる

問 11　条約改正と中国の革命

ア 辛亥革命が始まる　　イ 中華民国が成立する
ウ 日英通商航海条約が結ばれる　　エ 領事裁判権の撤廃が実施される

問 12　日本の国際的地位の変化

ア 関税自主権が完全に回復する　　イ 日英通商航海条約が結ばれる
ウ ポーツマス条約が結ばれる　　エ 日英同盟が結ばれる

問 13　政党と帝国議会

ア 自由党が結成される　　イ 立憲改進党が結成される
ウ 第 1 回帝国議会が開かれる　　エ 大日本帝国憲法が発布される

問 14　民権運動と政治制度

ア 内閣制度ができる　　イ 第 1 回帝国議会が開かれる
ウ 国会期成同盟が結成される　　エ 民撰議院設立建白書が出される

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　憲法の制定と東アジア

ア 大日本帝国憲法が発布される　　イ 中華民国が成立する
ウ 韓国併合が行われる　　エ 日清戦争が始まる

問 16　朝鮮の開国から植民地化へ

ア 日清戦争が始まる　　イ 韓国併合が行われる
ウ ポーツマス条約が結ばれる　　エ 日朝修好条規が結ばれる

問 17　日清戦後と条約改正

ア 義和団事件が起こる　　イ 領事裁判権の撤廃が実施される
ウ 下関条約が結ばれる　　エ 日英同盟が結ばれる

問 18　日露戦後と中国の変化

ア ポーツマス条約が結ばれる　　イ 日露戦争が始まる
ウ 中華民国が成立する　　エ 辛亥革命が始まる

問 19　政治制度と条約の改正

ア 領事裁判権の撤廃が実施される　　イ 大日本帝国憲法が発布される
ウ 内閣制度ができる　　エ 日英通商航海条約が結ばれる

問 20　明治の政治と外交の歩み

ア ポーツマス条約が結ばれる　　イ 大日本帝国憲法が発布される
ウ 関税自主権が完全に回復する　　エ 民撰議院設立建白書が出される

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　自由民権運動は、当時の政府の政治をどのように批判し、どのような政治を求めたか。国会と国民の参加に触れて説明しなさい。

問 2　自由民権運動が一部の士族だけの運動にとどまらなかったことを、資料から説明しなさい。

資料　各地で政治結社や演説会がつくられ、地主や農民・商工業者なども参加した。新聞や雑誌でも、政治や国会についての意見が発表された。

問 3　1881 年に国会開設の勅諭が出されたことは、自由民権運動と政府の関係にどのような意味を持ったか。実際の開設時期も示して説明しなさい。

問 4　大日本帝国憲法は、天皇の権限と国民の権利をどのように定めていたか。両方に触れて説明しなさい。

問 5　帝国議会の開設によって政治にどのような仕組みが加わったか。また、衆議院の多数派が全ての政治を決める仕組みだったか。説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　1890 年の第 1 回衆議院議員総選挙は、広く全ての国民が参加できる選挙だったか。主な選挙権の条件を示し、資料も使って説明しなさい。

資料　当時の有権者は、全人口の約 1%だった。女性には選挙権が認められていなかった。

問 7　明治政府が、不平等条約の改正で回復しようとした二つの権限は何か。それぞれの意味を説明しなさい。

問 8　条約改正のためには、欧米風の社交を取り入れるだけでなく、どのような取り組みが必要だったか。資料から説明しなさい。

資料　政府は鹿鳴館で欧米の外交官らをもてなした。また、日本の法律や裁判制度を整備し、各国との交渉も続けた。

問 9　条約改正は一度で全て実現したわけではない。1894 年・1899 年・1911 年を使って、実現した内容を説明しなさい。

問 10　日清修好条規と日朝修好条規では、相互の権利の認め方にどのような違いがあったか。領事裁判権にも触れて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　朝鮮で起きた甲午農民戦争は、なぜ日清戦争につながったのか。日清両国の出兵と朝鮮への影響力から説明しなさい。

問 12　三国干渉で、日本は下関条約による領土獲得をどのように変更したか。また、その後のロシアとの関係にどのような影響があったか。

問 13　日本とイギリスが日英同盟を結んだのはなぜか。ロシアの動きと、両国に共通する利害から説明しなさい。

問 14　下関条約とポーツマス条約で、日本が得た主な領土と賠償金の有無はどう違ったか。遼東半島の返還にも触れて説明しなさい。

問 15　日比谷焼き打ち事件が起きた背景を説明しなさい。また、政府が講和を選んだ事情を資料から説明しなさい。

資料　人々は重い戦費負担に耐えたが、ポーツマス条約で賠償金は得られなかった。日本は戦費や兵力の継続的な確保が難しく、ロシアでも革命運動が広がっていた。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　日露戦争後、日本による韓国支配はどのように強められたか。外交権と 1910 年の出来事に触れ、韓国の人々の立場からも説明しなさい。

問 17　発展　日本の国際的地位の変化を「欧米と対等になった」という面だけで説明すると、何を見落とすか。台湾や朝鮮の人々の立場を含めて説明しなさい。

問 18　発展　下関条約で清が朝鮮の独立を認めたことを、「朝鮮が外国の干渉を受けなくなった」と説明してよいか。資料を使って説明しなさい。

資料　下関条約は清による朝鮮への宗主権を否定した。その後も日本などの干渉は続き、日露戦争後に日本は韓国の外交権を奪った。

問 19　発展　辛亥革命による変化は、単に皇帝が交代することと、どのように違うか。清と中華民国の政治の仕組みを比べて説明しなさい。

資料　清では皇帝が国家を治めていた。1912 年に成立した中華民国は、皇帝を置かず、孫文を臨時大総統とした。

問 20　発展　「日清戦争に勝ったので、1894 年に領事裁判権の撤廃を定める条約を結べた」という説明は適切か。資料の順序を使って説明しなさい。

資料　1894 年 7 月、日英通商航海条約に調印した。同年に日清戦争が始まり、翌 1895 年 4 月、下関条約が結ばれた。

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	藩閥政治	26	関税自主権
2	板垣退助	27	日清修好条規
3	民撰議院設立建白書	28	樺太・千島交換条約
4	自由民権運動	29	琉球処分
5	立志社	30	江華島事件
6	国会期成同盟	31	日朝修好条規
7	国会開設の勅諭	32	甲午農民戦争
8	自由党	33	日清戦争
9	立憲改進党	34	下関条約
10	大隈重信	35	台湾・澎湖諸島・遼東半島
11	伊藤博文	36	三国干渉
12	内閣制度	37	ロシア・ドイツ・フランス
13	大日本帝国憲法	38	義和団事件
14	ドイツ（プロイセン）	39	日英同盟
15	天皇主権	40	日露戦争
16	臣民	41	日本海海戦
17	帝国議会	42	ポーツマス条約
18	貴族院・衆議院	43	南樺太
19	15 円以上	44	日比谷焼き打ち事件
20	鹿鳴館	45	韓国統監府
21	ノルマントン号事件	46	韓国併合
22	陸奥宗光	47	朝鮮総督府
23	日英通商航海条約	48	孫文
24	領事裁判権	49	辛亥革命
25	小村寿太郎	50	中華民国

認められる表記の例

問 3：民選議院設立建白書も可。問 14：ドイツ・プロイセンも可。問 18：順序の逆も可。
問 28：樺太千島交換条約も可。問 32：東学農民運動・東学党の乱も可。
問 35・37：順序不問。問 38：北清事変も可。問 44：日比谷焼打事件も可。問 45：統監府も可。

解答 STEP 2 並び替え

出来事の年代と、その前後のつながりも確認しましょう。

番号	答え	解説
1	ウ→ア→エ→イ	民撰議院設立建白書の提出（1874 年） → 国会期成同盟の結成（1880 年） → 国会開設の勅諭（1881 年） → 立憲改進党の結成（1882 年）
2	ア→エ→イ→ウ	自由党の結成（1881 年） → 立憲改進党の結成（1882 年） → 内閣制度の創設（1885 年） → 大日本帝国憲法の発布（1889 年）
3	ウ→ア→イ→エ	民撰議院設立建白書の提出（1874 年） → 国会開設の勅諭（1881 年） → 大日本帝国憲法の発布（1889 年） → 第 1 回帝国議会（1890 年）
4	イ→エ→ア→ウ	ノルマントン号事件（1886 年） → 日英通商航海条約の調印（1894 年） → 改正条約の実施と領事裁判権の撤廃（1899 年） → 関税自主権の完全回復（1911 年）
5	イ→ウ→エ→ア	日清修好条規（1871 年） → 樺太・千島交換条約（1875 年） → 日朝修好条規（1876 年） → 沖縄県の設置（1879 年）
6	ウ→エ→イ→ア	日朝修好条規（1876 年） → 大日本帝国憲法の発布（1889 年） → 日清戦争の開始（1894 年） → 下関条約（1895 年）
7	エ→ア→イ→ウ	日清戦争の開始（1894 年） → 三国干渉（1895 年） → 義和団事件（1900 年） → 日英同盟（1902 年）
8	エ→ウ→イ→ア	義和団事件（1900 年） → 日英同盟（1902 年） → 日露戦争の開始（1904 年） → ポーツマス条約（1905 年）
9	イ→ウ→ア→エ	第 1 回帝国議会（1890 年） → 日清戦争の開始（1894 年） → 日英同盟（1902 年） → 日露戦争の開始（1904 年）
10	ア→イ→ウ→エ	三国干渉（1895 年） → 日英同盟（1902 年） → ポーツマス条約（1905 年） → 韓国併合（1910 年）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	ウ→エ→ア→イ	日英通商航海条約の調印（1894 年） → 改正条約の実施と領事裁判権の撤廃（1899 年） → 辛亥革命の開始（1911 年） → 中華民国の成立（1912 年）
12	イ→エ→ウ→ア	日英通商航海条約の調印（1894 年） → 日英同盟（1902 年） → ポーツマス条約（1905 年） → 関税自主権の完全回復（1911 年）
13	ア→イ→エ→ウ	自由党の結成（1881 年） → 立憲改進党の結成（1882 年） → 大日本帝国憲法の発布（1889 年） → 第 1 回帝国議会（1890 年）
14	エ→ウ→ア→イ	民撰議院設立建白書の提出（1874 年） → 国会期成同盟の結成（1880 年） → 内閣制度の創設（1885 年） → 第 1 回帝国議会（1890 年）
15	ア→エ→ウ→イ	大日本帝国憲法の発布（1889 年） → 日清戦争の開始（1894 年） → 韓国併合（1910 年） → 中華民国の成立（1912 年）
16	エ→ア→ウ→イ	日朝修好条規（1876 年） → 日清戦争の開始（1894 年） → ポーツマス条約（1905 年） → 韓国併合（1910 年）
17	ウ→イ→ア→エ	下関条約（1895 年） → 改正条約の実施と領事裁判権の撤廃（1899 年） → 義和団事件（1900 年） → 日英同盟（1902 年）
18	イ→ア→エ→ウ	日露戦争の開始（1904 年） → ポーツマス条約（1905 年） → 辛亥革命の開始（1911 年） → 中華民国の成立（1912 年）
19	ウ→イ→エ→ア	内閣制度の創設（1885 年） → 大日本帝国憲法の発布（1889 年） → 日英通商航海条約の調印（1894 年） → 改正条約の実施と領事裁判権の撤廃（1899 年）
20	エ→イ→ア→ウ	民撰議院設立建白書の提出（1874 年） → 大日本帝国憲法の発布（1889 年） → ポーツマス条約（1905 年） → 関税自主権の完全回復（1911 年）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 民権運動の目的	薩摩・長州などの出身者が政治の実権を握る藩閥政治を批判した。国会を開き、国民の代表を政治に参加させることや、憲法を定めて国民の権利を保障することを求めた。	藩閥政治への批判と、国会開設・政治参加・権利保障の要求を示す。
問 2 運動の広がり	士族だけでなく、地主や農民・商工業者なども運動に参加した。各地の結社や演説会、新聞・雑誌を通じて国会開設などの考えが広がり、幅広い人々が政治について意見を表すようになった。	参加者の広がりと、演説会や新聞などによる意見の発信を示す。
問 3 国会開設の約束	国会開設を求める運動が高まり、政府は 1890 年に国会を開くと約束した。民衆の要求が政府の方針に影響した一方、開設までの準備や憲法づくりは、政府が主導して進めることになった。	運動の高まり、1890 年開設の約束、政府が制度づくりを主導したことを示す。
問 4 憲法の特色	天皇を統治権の中心とし、軍隊の指揮や議会の召集など強い権限を認めた。国民は臣民とされ、言論や集会などの自由が認められたが、その権利は法律によって制限される仕組みだった。	天皇の強い権限と、国民の権利が法律の範囲内で認められたことを示す。
問 5 帝国議会の役割	法律や予算を議会で審議し、衆議院の議員を選挙で選ぶ仕組みが加わった。ただし、貴族院も置かれ、天皇が強い権限を持ち、内閣は天皇を補佐したため、衆議院の多数派だけで政治を決める制度ではなかった。	議会の審議と選挙の意義を示し、貴族院・天皇・内閣による権限の制約も説明する。
問 6 選挙権の制限	全ての国民が参加できる選挙ではなかった。主な条件は、直接国税を年 15 円以上納める満 25 歳以上の男子である。女性や納税額の少ない人々などは参加できず、有権者は全人口の約 1%に限られた。	性別・年齢・納税額の三条件と、有権者が少数だったことを示す。
問 7 条約改正の目的	外国人の犯罪を日本の法律と裁判所で裁くため、領事裁判権の撤廃を目指した。また、輸入品などの関税率を日本が自分で決められるように、関税自主権の回復を目指した。	領事裁判権の撤廃と関税自主権の回復を、それぞれの意味とともに示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 改正の条件	欧米風の社交で近代化を示すだけでなく、法律や裁判制度を整え、外国人も日本の裁判で扱える制度をつくる必要があった。相手国の同意を得る外交交渉も必要で、社交だけで改正が実現したわけではない。	法制度の整備と外交交渉を挙げ、欧米風の社交だけでは達成できないことを示す。
問 9 改正の段階	1894 年、陸奥宗光の下で日英通商航海条約が結ばれ、領事裁判権の撤廃が定められた。改正条約は 1899 年に実施された。その後、1911 年に小村寿太郎の下で関税自主権が完全に回復した。	1894 年の調印、1899 年の実施、1911 年の関税自主権完全回復を区別する。
問 10 近隣との条約	日清修好条規は、領事裁判権などを相互に認める、対等な形の条約だった。日朝修好条規は、朝鮮を独立国と認める一方、日本側に領事裁判権を認めるなど、朝鮮に不利な不平等条約だった。	日清では権利が相互的、日朝では日本に有利だったという違いを示す。
問 11 日清戦争の背景	朝鮮政府が反乱を抑えるため清に出兵を求めると、日本も出兵した。農民軍と朝鮮政府の和解後も両国は撤兵せず、朝鮮への影響力をめぐる対立が深まり、日清戦争に至った。	清への出兵要請、日本の出兵、撤兵しない両国の対立をつなげて示す。
問 12 三国干渉の影響	ロシア・ドイツ・フランスの圧力を受け、下関条約で得た遼東半島を清に返還した。日本では特にロシアへの反発と警戒が強まり、その後のロシアの満州進出と重なって対立が深まった。	遼東半島の清への返還と、ロシアへの反発・警戒の強まりを示す。
問 13 日英同盟の背景	ロシアが義和団事件後も満州から撤兵せず、東アジアで勢力を広げたためである。日本とイギリスは、ロシアの進出を警戒し、自国の権益を守るという共通の利害から同盟を結んだ。	ロシアの満州進出と、それを警戒する日英両国の共通の利害を結び付ける。
問 14 二つの講和条約	下関条約では台湾・澎湖諸島・遼東半島と賠償金を得たが、遼東半島は三国干渉で清に返した。ポーツマス条約では南樺太などを得た一方、ロシアから賠償金は得られなかった。	日清戦後の領土・賠償金と遼東半島返還、日露戦後の南樺太と賠償金なしを区別する。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 講和への不満	重い負担に耐えた人々は、賠償金を得られない講和に不満を強めた。一方、日本は戦費や兵力の面で戦争継続が難しく、ロシアも国内の革命運動を抱えていたため、両国は講和に向かった。	人々の期待と講和条件の差、両国の戦争継続の困難さを示す。
問 16 韓国の植民地化	日本は韓国の外交権を奪い、統監府を通じて支配を強めた。1910 年には韓国を併合し、朝鮮総督府を置いて植民地支配を行った。韓国の人々は独立を失い、支配に抵抗する動きも続いた。	外交権の剥奪から併合への変化と、独立を失った人々の抵抗を示す。
問 17 対等化と植民地	条約改正などで欧米との対等化が進んだ一方、日本が台湾や朝鮮への植民地支配を広げたことを見落とす。日本の地位向上と、支配を受ける人々が政治的自由や独立を奪われたことの両方を考える必要がある。	欧米との対等化と、アジアへの植民地支配の拡大を、異なる立場から説明する。
問 18 朝鮮の独立	よくない。清との従属関係を断つことは定められたが、他国の干渉までなくなったわけではない。日本などの影響力が強まり、のちに韓国の外交権が奪われたため、条約の規定と実際の状況を分けて考える必要がある。	清の宗主権の否定と、外国の干渉がなくなることは同じではないと示す。
問 19 中国の政治変化	皇帝が別の人物に替わっただけでなく、皇帝による支配そのものを終わらせようとした点が違う。清に代わり、皇帝を置かず大総統を代表とする共和国の中華民国が成立し、政治の仕組みが変わった。	人物や王朝の交代にとどまらず、皇帝の支配から共和制への変更を示す。
問 20 改正と戦争	適切ではない。日英通商航海条約は日清戦争の勝利より前に結ばれているため、勝利を条約調印の原因にはできない。条約改正は、国内の法制度の整備や外交交渉、各国の利害などを踏まえて考える必要がある。	1894 年の調印が 1895 年の講和に先立つことを根拠に、因果関係の誤りを示す。